



観光立町宣言
湯沢町

君と一緒に暮らす町

平成 30年度

湯沢町の予算

～予算の仕組みと主な事業～



「わたしたちのねがい」

— 湯沢町町民憲章 —

美しい自然につつまれた雪のまち湯沢

きよらかな愛情あふれるまち

すこやかな活力みなぎるまち

さわやかな誰もが訪れたいまち

みんなで力をあわせ

豊かで明るく住みよい

文化の香り高い町をつくりましょう

発行にあたり

町民の皆様には、日ごろから湯沢町のまちづくりに対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この冊子は、町の子算の内容を町民の皆様にはわかりやすくお知らせすることを目的として作成したものです。

平成30年度の一般会計予算は、当初70億6千万円を議会に上程しましたが、フットサルコートナイター照明設置、東口駅前広場花壇改修、緊急告知ラジオ購入の3事業が議会による修正案により削除され、総額は69億8,440万4千円となりました。削除された事業は、いずれも担当部署が計画的に整備を進めてきた事業であったため、これを議会に認めていただけなかったことは大変残念ですが、今後はこれまで以上に議会、そして町民の皆様にご理解とご協力を頂けるよう町政運営を進めてまいります。

さて、町は平成27年に2040年(平成52年)人口を6,650人とする「人口ビジョン」を策定し、その実現に向けて「湯沢町総合戦略」による各種施策を展開しています。

そうしたなか、平成6年以降毎年減少していた当町の人口は、転入者数の増加により、平成29年9月末の対前年比で約20年ぶりに増加(34人)に転じ8,123人となっています。年代別に見ると30～40歳が増加するなど、これまでにない動きも見られます。また、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口の最新(平成30年3月)の報告は、2040年(平成52年)の当町の人口を5,800人強と、前回報告(平成25年)よりも約400人上方修正しています。

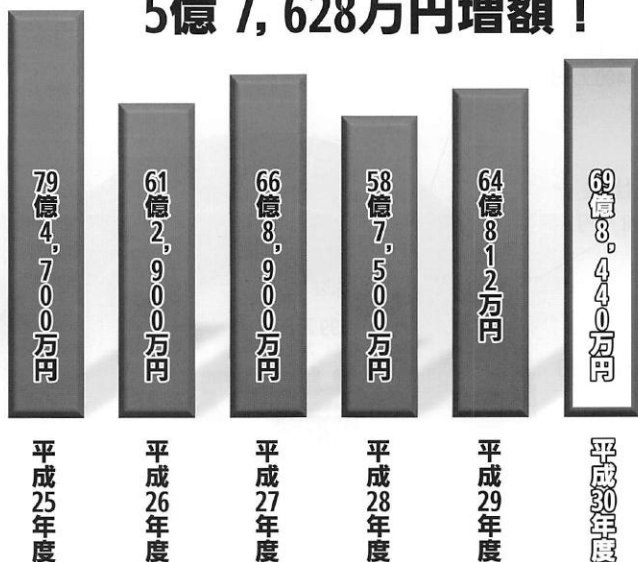
少子高齢化・人口減少社会にあって、湯沢町が将来も存続していくためには、人口減少の抑制は避けて通れない課題です。今後も、「人口ビジョン」に掲げた2040年の将来展望人口6,650人を達成できるよう、着実に施策を実施してまいります。

湯沢町に暮らすことを誇りに思える活力ある町をめざし、町民の皆様と力を合わせてまちづくりを進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

一般会計

平成 30年度一般会計当初予算 **69億8,440万4千円**

当初予算額は平成 29年度より
5億 7, 628万円増額！



平成 30年度の一般会計予算総額は 69億 8,440万 4千円となり、平成 29年度より 5億 7,628 万円の増額となりました。収入ではふるさと納税、町債(町が行う借入金)、国・県からの補助金の増加、歳出では道路・橋梁・公園施設等の修繕費、借入金にかかる元利償還金の増加が一般会計全体の増額の主な要因となっています。

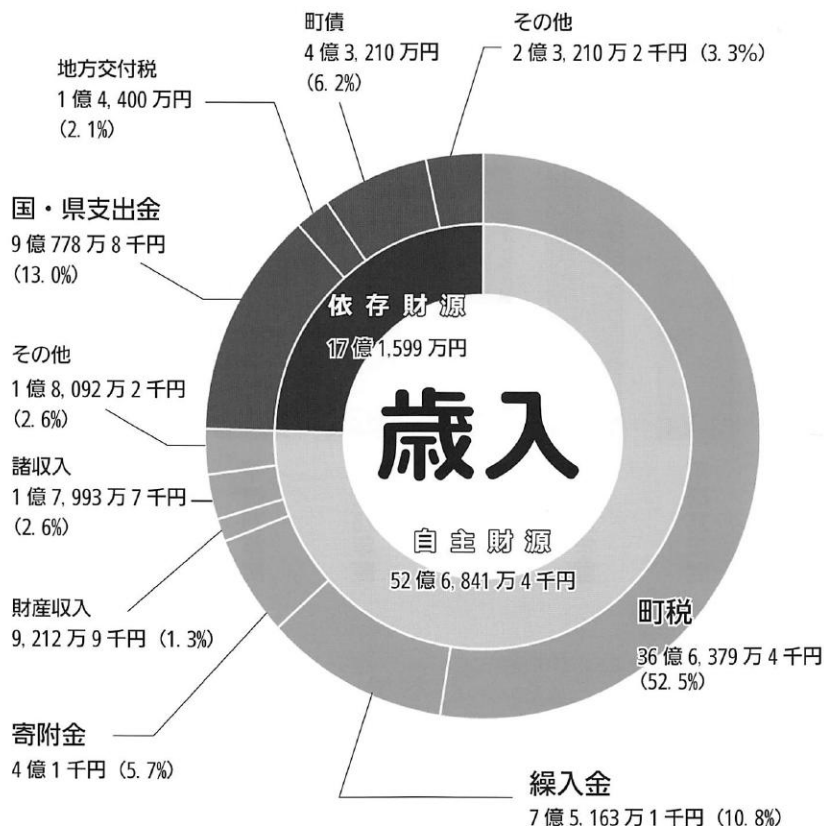
予算は、1年間の各種行政サービスを適切かつ効率的に行うために収入と支出を見積もったものです。今年度も無駄のない計画的な執行に努めます。

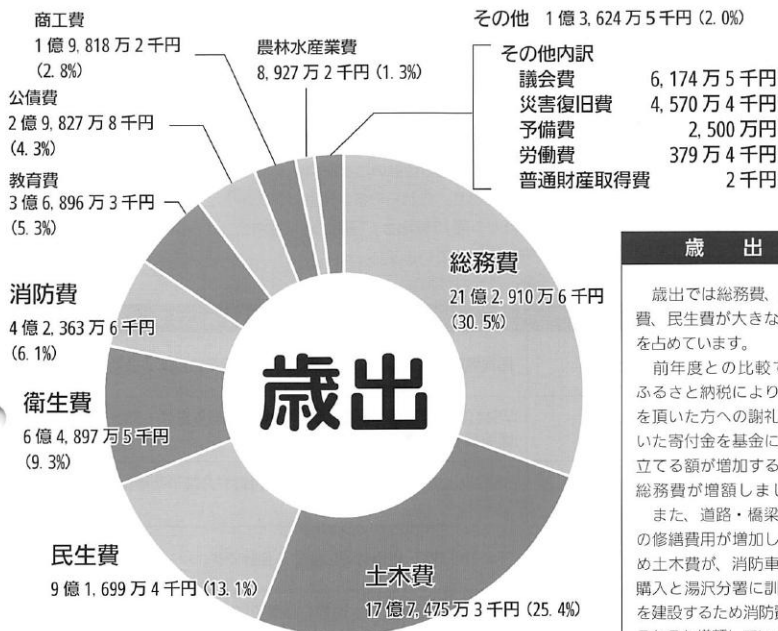
平成 30年度一般会計当初予算 69億8,440万4千円

歳入

歳入では53%を町税が占めており、そのうち約8割が固定資産税です。この町税を含め、町が自ら調達できる収入である「自主財源」が全体の7割以上となっており、財政の自主性は県内他市町村と比べ高いといえます。

前年度との比較では、ふるさと納税による寄付金が約1億5,000万円増額しています。また、歳出において道路・橋梁などの修繕費用が増加するため、可能な限りその支出に充てる国・県からの補助金を獲得できるように努めています。





歳出

歳出では総務費、土木費、民生費が大きな割合を占めています。

前年度との比較では、ふるさと納税により寄付を頂いた方への謝礼や頂いた寄付金を基金に積み立てる額が増加するため総務費が増額しました。

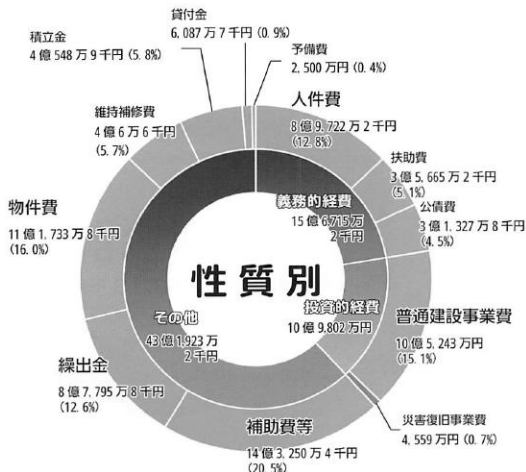
また、道路・橋梁などの修繕費用が増加したため土木費が、消防車両の購入と湯沢分署に訓練塔を建設するため消防費が、それぞれ増額しています。

歳出を性質別でみると

補助費等、物件費が大きな割合を占めています。補助費は、各種団体への補助金や南魚沼市への委託費（ごみ処理、消防業務等）、公営企業会計（水道事業、病院事業）への補助金などが計上されています。

物件費には各種委託料や使用料、消耗品光熱水費などが計上されています。

普通建設事業には、越後湯沢駅西口広場改修、城平跨線橋修繕、魚野川右岸遊歩道整備などが計上されています。

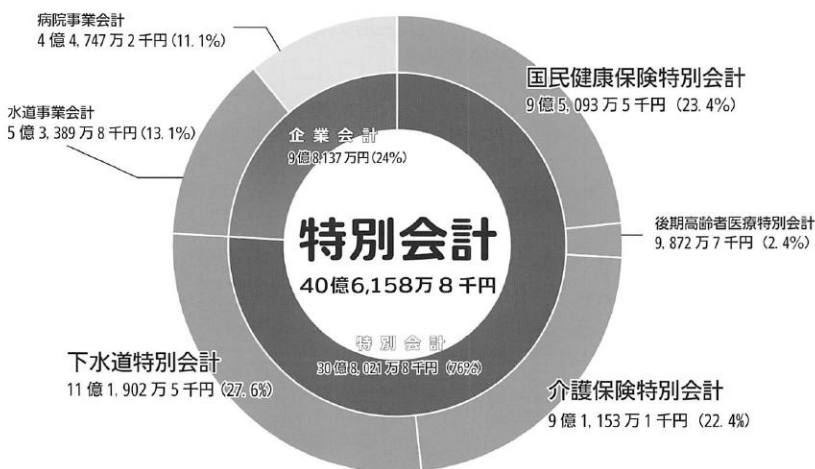


特別会計

特別会計・企業会計とは、国または地方公共団体において、税収を財源とする一般的な収入と支出の会計である。一般会計とは別に設けられ、独立した経理が行われる会計のことをいいます。特別会計・企業会計が担うのは、国民健康保険や下水道、公立病院などの事業であり、これらの事業運営で収入が不足した場合など、一般会計から各会計へ資金を融通しています。一般会計から見て「繰出金」「補助金」、特別会計から見て「繰入金」と呼ばれ、平成30年度は、総額で11億3,771万5千円となっています。

湯沢町には4つの特別会計と2つの企業会計があります。

区 分		事業内容及び今年度予算の特徴
特別会計	国民健康保険特別会計	国民健康保険に加入している方の医療費を給付する会計です。
	後期高齢者医療特別会計	75歳(寝たきり等の一定の障がい状態にある方は65歳)以上の方の医療費を給付する会計です。
	介護保険特別会計	65歳以上の要介護・要支援者の給付費や介護予防事業費を計上しています。
	下水道特別会計	下水道の整備・維持管理に関する会計です。
企業会計	水道事業会計	水道水の供給および水道管の整備更新、水源の維持管理に関する会計です。
	病院事業会計	町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター)の運営に関する会計です。



町債と基金

その年度の歳出は、本来は同じ年度の収入で賄わなければなりません。しかし、一時期に多額の費用を要する大規模建設事業などでは借入を行うことが認められています。

平成30年度の起債予定事業は、一般会計では、公共施設等適正管理推進事業(老人憩いの家「やすらぎ荘」解体)、道路事業(消雪パイプ・舗装修繕・橋梁改修等)、都市計画事業債(カルチャーセンター・レジャーブール等修繕)、地域住宅支援事業(湯沢西地区街なみ環境整備事業)、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(駅前公園他4カ所トイレ改築)、緊急防災・減災事業(南魚沼市負担金(消防車両等購入)、減災対策事業(南魚沼市負担金(湯沢消防署訓練塔建設事業))、下水道特別会計では湯沢浄化センター・浅貝浄化センターの改修、病院事業会計では医療機器更新のための借入れを予定しています。

借入を行う場合には、将来の負担を軽減できるよう、返済する元利償還金が普通交付税として国から交付される借入となるよう努めています。これにより借入した額は全額返還しなくてよいこととなります。

町債 ～湯沢町の借金～

町民一人当たりの残高 106万9千円(平成30年3月末人口による)

	一般	下水道	水道	病院	計
H29年度末残高	39億1,339万8千円	42億2,206万5千円	6億9,037万9千円	2億5,540万8千円	90億8,125万9千円
H30年度中償還	2億7,199万8千円	5億2,756万5千円	1億1,288万5千円	3,838万5千円	9億5,083万3千円
H30年度中借入	5億180万円	7,910万円	0円	4,270万円	6億2,360万円
H30年度末残高見込	41億4,320万円	37億7,736万円	5億7,749万4千円	2億5,972万3千円	87億5,401万7千円

基金 ～湯沢町の貯金～

町民一人当たりの残高 28万3千円(平成30年3月末人口による)

一般会計	財政調整基金	15億1,389万2千円
	減債基金	5,430万9千円
	旧学校施設等解体撤去基金	516万6千円
	美術館建設基金	1億133万4千円
	ふるさと基金	1億円
	公共事業基金(地公金)	1,700万5千円
	湯沢こころのふるさと基金	2億6,852万1千円
特別会計	国民健康保険支払準備基金	4,833万4千円
	下水道施設改修基金	1億863万5千円
	介護給付費準備基金	1億594万6千円
合計		23億2,314万2千円

町債残高推移

25年度末	97億6,059万9千円
26年度末	99億5,316万2千円
27年度末	99億4,572万1千円
28年度末	95億9,241万円
29年度末	87億5,401万7千円

最も残高の多い財政調整基金は財源に余裕があるときに積み立て、不足するときに使うことのできる基金で、平成30年度では3億103万円の取崩し不足分を補っています。

基金残高推移

25年度末	27億8,644万1千円
26年度末	19億6,540万1千円
27年度末	20億4,542万2千円
28年度末	23億658万6千円
29年度末	23億2,314万2千円

事務事業評価

Q 事務事業評価とは何？

A 町が実施している事務事業の成果を、客観的な指標(数値化したもの)等を活用し、その効率・効果等の評価を行い、さらなる改革改善を図ることでより良い行政運営を目指すものです。

Q 評価のしくみは？

A より効率的で効果的な行政運営を実施するため、その事務事業にPDCAというサイクルを組み、計画から改善までを行います。PDCAサイクルとは、計画・立案(Plan)、実施・施行(Do)、評価・検証(Check)、改善・見直し(Action)の頭文字をとった言葉です。



担当課評価: 設定した指標に対する達成度を評価したもの

評価: 担当課評価をふまえ、事業の方向性を評価したもの

A: 拡大 B: 現状維持 C: 縮小 D: 統廃合 E: 廃止・休止

平成28年度に実施した182件の事務事業について評価・検証(Check)を行い、B評価(現状維持)以外とされた事業は次のとおりです。

担当課	事業名	担当課評価	評価	今後の事業の方向性、改善策等の意見
環境農林課	陶芸工房運営管理	半ば達成	D	体験工房との一体的な運営を検討する
建設課	事業用施設リフォーム支援	目標達成	E	H30年度での制度の終了を周知し、事業を終了する
建設課	住宅リフォーム支援事業	目標達成	E	H30年度での制度の終了を周知し、事業を終了する
環境農林課	地産地消食育推進事業	概ね達成	E	事業の役割は終了ことから、廃止する
環境農林課	有害鳥獣による農作物等被害防止対策	半ば達成	A	
町民課	すくすく子育て応援金	ほとんど進展ない	E	他の子育て施策を充実するための財源に振り替える
観光商工課	商工会運営費補助金	概ね達成	C	自立した運営を促す
観光商工課	湯沢町観光協会運営費補助金	半ば達成	C	自立した運営を促す

事務事業評価の詳細は、湯沢町ホームページにて公開しています。

(トップページ▷ 町政情報▷ 政策・計画・取り組み▷ 事務事業評価)

人件費の状況

人件費の抑制に努めています

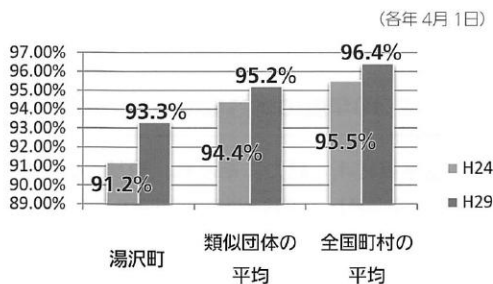
人件費の状況(平成28年度決算)

人件費には、職員の他に町議会議員、非常勤特別職などにかかる報酬、給料、手当、共済費、負担金などが含まれます。

普通会計歳出額	実質収支	人件費	歳出額に占める人件費の率	(参考) H 27年度の 人件費率
59億 530万円	3億 6,823万円	8億 6,927万円	14.7%	13.2%

▶ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの自治体職員の給与水準を示すものです。湯沢町の場合、平成29年度は93.3%で、類似団体や全国町村の平均と比べて低い水準となっています。※類似団体とは、人口規模や産業構造が湯沢町と類似している市町村のことです。類似団体の平均とは、類似団体のラスパイレス指数を単純に平均したものです。



職員数の推移

職員数については、平成24年当時から24名減少しています。今後も事務事業の見直し、民営化・委託化を進めながら定員の適正化を図ってまいります。

(単位：人)

	24年	25年	26年	27年	28年	29年
一般行政	115	110	110	101	100	100
教育	15	13	14	11	9	8
普通会計	130	123	124	112	109	108
公営企業等会計	16	16	14	13	14	14
総合計	146	139	138	125	123	122

(注意) 1 各年度における部門別職員数です。(町長、副町長、教育長除く)

2 平成30年4月1日の職員数は、121名です。

湯沢町人口ビジョン・ 総合戦略について

国は、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」において、加速度的に進む人口減少に歯止めをかけ、2060年度に1億人程度の人口を確保することを目指しています。湯沢町では「まち・ひと・しごと創成法」に基づき、人口減少の克服と地方創成を目的とした「湯沢町人口ビジョン・総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

人口ビジョンとは、今後の人口推移が与える社会的・経済的な影響を分析し、地域社会の活性化に向けた将来展望・方向性を明らかにするものです。



総合戦略

人口ビジョンと同時に作成された「湯沢町総合戦略」は、町の最上位計画である「湯沢町総合計画」との整合を図りつつ、人口ビジョンで掲げた将来展望の目標値を達成するための具体的な施策・事業をまとめたものです。

平成30年度の総合戦略の施策展開(予算総額 238,096千円)

基本目標1 魅力にあふれ、やりがいを感じて働くことができるまち

【企画政策課】…企業誘致推進官の任用及び企業調査 4,388千円、起業支援 5,735千円、インキュベーションセンター運営補助 300千円

基本目標2 雇用が安定し、活力ある産業が持続するまち

【観光商工課】…女性就労支援 300千円、インターンシップ受け入れ促進 1,132千円、外国入労働者受け入れ態勢整備 216千円

基本目標3 雇用が安定し、活力ある産業が持続するまち

【企画政策課】…住宅取得支援 150千円、新幹線通勤支援 3,600千円、新幹線通勤生活体験 1,000千円、移住定住 PR9,335千円、UIターン促進定住支援モデル事業 2,400千円

【観光商工課】…合同企業説明会 219千円

【建設課】…克雪住まいづくり支援 150千円

人口の将来展望

国の長期ビジョンの基にもなった社人研推計(平成25年)では、2040年(平成52年)の湯沢町の人口は5,466人まで減少するとされていますが、湯沢町人口ビジョンでは6,650人を目標に掲げています。

なお、社人研の最新(平成30年)の推計では、湯沢町の2040年の人口は5,877人となり、5年前の推計に比べ約410人上方に修正されています。

	湯沢町 人口ビジョン	社人研 推計※1	日本創成会議 推計※2
2010年 (平成22年)	8,396人		
2040年 (平成52年)	6,650人	5,466人	5,215人

※1 社 人 研：厚生労働省に所属する国立研究機関で、人口や世帯の動向を捉えるとともに、内外の社会保障政策や制度についての研究を行っている。正式名称は国立社会保障・人口問題研究所。

※2 日本創成会議：2011年5月に発足した民間の会議体であり、14年5月に、同会議の人口減少問題検討分科会が、2040年には若年女性の流出により全国で896の市町村が人口減少による消滅の可能性がある「消滅可能性都市」になると発表した。湯沢町も消滅可能性都市とされている。

基本目標4 子どもがすくすく育つまち

【企画政策課】……………婚活支援 396千円

【町民課】……………子ども医療費無料化 4,502千円

【教育課・子育て支援課】…保小中一貫教育 143,856千円

【子育て支援課】……………休日保育 2,535千円、延長保育 817千円、病児・病後児保育 4,935千円、児童クラブ運営 7,149千円、ファミリー・サポート・センター利用支援 390千円、園児からの英語学習 9,500千円、総合子育て支援センター運営 14,303千円

基本目標5 多くの人が訪れ、交流する活気あふれるまち

【企画政策課】…広報戦略アドバイザーの任用 480千円

【観光商工課】…外国人観光客誘致 8,000千円、外国人観光客受け入れ態勢の整備 7,000千円、

MICE誘致 2,500千円、広域観光連携 2,013千円

※国際会議等

基本目標6 安全・安心で快適に暮らせるまち

【企画政策課】…若い世代のまちづくりへの参加促進 695千円

【福祉介護課】…高齢者サロン設置運営支援 100千円

「湯沢町人口ビジョン・総合戦略」の詳細は、湯沢町ホームページで閲覧することができます。

(トップページ▷ 町政情報▷ 政策・計画・取り組み▷ 地方創生)

主な事業

I 四季を通じて、また訪れたくなるまちづくり

湯沢町の四季折々の魅力を再発見し、育むとともに、その良さを広く伝えていくことにより、多くの人々が年間を通じて湯沢町を訪れるまちづくりを推進します。また、町民と観光客とのあたたかな交流を創出し、何度も訪れたくなるホスピタリティ(心のこもったおもてなし)の高いまちづくりを推進します。



観光産業の支援	担当課	観光商工課	事業費	20,063千円(前年度 19,437千円)
町の基幹産業である観光産業の振興を図るため、各種イベント助成などの予算を計上しています。				
新規事業等：大相撲夏巡業「雪国湯沢場所」開催補助金 元気な観光地づくり推進事業補助金 6,000千円、MICE誘致推進事業補助金 2,500千円、こらっしやい湯沢収穫祭負担金 1,000千円、新潟スキー100年委員会負担金 2,725千円、大相撲夏巡業「雪国湯沢場所」開催補助金 5,000千円				

雪国観光圏	担当課	観光商工課	事業費	2,013千円(前年度 1,983千円)
魚沼市、南魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町、みなかみ町、栄村の7市町村が一体となり、世界に通用する観光地域としてのブランド確立をめざした事業を行います。				
雪国観光圏事業負担金 2,013千円				

湯沢町観光協会補助金	担当課	観光商工課	事業費	89,500千円(前年度 83,000千円)
湯沢町の観光宣伝業務の大部分は、湯沢町観光協会が行っています。柔軟な発想によって、より一層効果的な観光宣伝が行えるよう期待しています。				
観光宣伝業務補助金 69,500千円、運営費補助金 20,000千円				

越後湯沢秋桜 ハーフマラソン大会	担当課	観光商工課	事業費	5,500千円(前年度 4,700千円)
今年で17回目の開催となる「越後湯沢秋桜ハーフマラソン大会」は、9月30日の開催を予定しています。参加者数は、毎年約5,000人を超えるランナーが参加しています。				
秋桜ハーフマラソン大会補助金 5,500千円				

公衆浴場費	担当課	観光商工課	事業費	15,029千円(前年度 18,650千円)
町内5か所の町営共同浴場の運営は「一般財団法人湯沢町総合管理公社」を指定管理者とし、指定管理者の運営に起因しない事由による収入の大幅な減少や経費の増大があった場合には、指定管理料を支払う契約を結んでいます。				
新規事業等：街道の湯内壁修繕工事 浴場修繕工事等 10,600千円、土地借上料 1,500千円				

工商振興費	担当課	観光商工課	事業費	52,823千円(前年度 56,239千円)
町内の事業者への融資制度など、商工業の振興のための予算を計上しています。				
湯沢町商工会運営費補助金 4,000千円、信用保証料補給金 2,000千円、地方産業育成資金預託金・償還金 45,000千円、東日本大震災経済復興対策特別資金 877千円				

主な事業 「Ⅰ 四季を通じて、また訪れたいくなるまちづくり」・「Ⅱ 働きがいのある活力あふれるまちづくり」

観光施設管理費	担当課	観光商工課	事業費	22,701千円(前年度 22,980千円)
----------------	-----	--------------	-----	------------------------

登山道の維持管理、案内看板等の設置撤去、観光施設管理に関する予算を計上しています。
 新規事業等：魚野川右岸遊歩道整備事業基本計画策定
 大源太キャニオン青少年旅行村指定管理料 3,400千円、山鳥原公園指定管理料 3,900千円、魚野川右岸遊歩道整備事業基本計画策定 1,600千円

定住・交流促進事業	担当課	企画政策課	事業費	16,485千円(前年度 19,065千円)
------------------	-----	--------------	-----	------------------------

定住人口増加のための情報発信や各種補助制度の予算を計上しています。
 広告料 5,456千円、新幹線通勤補助金 3,600千円、U・Iターン促進住宅支援モデル事業補助金 2,400千円

地域活動支援事業	担当課	環境農林課	事業費	31,658千円(前年度 19,322千円)
-----------------	-----	--------------	-----	------------------------

地域の将来を担う人材として、地域おこし協力隊の隊員を募集し、観光と農業振興の分野で住民や町内事業者とともに活動する予算を計上しています。
 地域おこし協力隊報償費 19,676千円、使用料及び賃借料 9,356千円

三俣地域振興対策費	担当課	建設課	事業費	23,607千円(前年度 25,606千円)
------------------	-----	------------	-----	------------------------

道の駅みつまたの運営や、ダム建設計画中止後の三俣地域の振興対策に関する予算を計上しています。
 道の駅みつまた指定管理料 9,000千円、住宅等修繕整備補助金 12,000千円、にぎわい創出支援事業補助金 1,500千円

都市計画総務費	担当課	建設課	事業費	9,159千円(前年度 49,767千円)
----------------	-----	------------	-----	-----------------------

土地利用や都市施設などに関する計画の策定を行います。 新規事業等：立地適正化計画策定
 立地適正化計画策定 8,000千円

Ⅱ 働きがいのある活力あふれるまちづくり

生産基盤の整備と安定的な経営に向けた支援、異業種間の連携等により、湯沢町の特色を活かした魅力ある産業振興と働きがいのある雇用の創出を図ります。また、若者や高齢者、女性をはじめ、誰もがいきいきと安心して働き続けることができる職場環境の整備を促進し、町民の経済力の向上と産業振興を支える担い手の確保を図ります。



住宅・事業用施設リフォーム	担当課	観光商工課/建設課	事業費	5,500千円(前年度 7,000千円)
----------------------	-----	------------------	-----	----------------------

町内の建築関係業者を利用し、一般住宅及び自己所有事業用施設の改修及び拡充等を行う場合に費用の一部を補助しています。
 事業用施設リフォーム支援事業補助金 1,500千円、住宅リフォーム支援事業補助金 4,000千円

起業支援	担当課	企画政策課	事業費	5,000千円(前年度 5,000千円)
-------------	-----	--------------	-----	----------------------

新たな需要や雇用の創出を図るため、起業や新規事業参入を支援しています。
 起業支援補助金 5,000千円

農業委員会費	担当課	環境農林課	事業費	2,431千円(前年度 2,992千円)
---------------	-----	--------------	-----	----------------------

農業委員会とは、地方自治法、農業委員会等に関する法律に基づき市町村に設置されるもので、農地等の利用関係の調整、農地の交換分合、その他農地に関する事務を行います。
 農業委員会報酬 1,817千円

中山間地域直接支払制度	担当課	環境農林課	事業費	9,035千円(前年度 9,035千円)
--------------------	-----	--------------	-----	----------------------

農業生産条件が不利な状況の中山間地域等における、耕作放棄地の発生を防止するために導入された制度です。湯沢町では、添名、滝ノ又、原、旭原地区がこの交付金を受けています。
 中山間地域等直接支払補助金 9,035千円

平成30年度湯沢町の予算

農業振興費	担当課	環境農林課	事業費	12,314千円(前年度 14,709千円)
水田の持つ多面的機能の維持や「人・農地プラン」に基づく青年就農給付金や農地集積の経営転換協力金の支給など、持続可能で競争力の高い農業の実現のための予算を計上しています。 農業次世代人材投資資金交付金 750千円、多面的機能支払交付金 10,423千円				
農作物被害防除事業	担当課	環境農林課	事業費	5,381千円(前年度 7,232千円)
農業者、行政、JA、猟友会などの関係機関が一体となり、農作物の有害鳥獣被害防止活動を実施しています。電気柵設置及び狩猟免許取得補助制度等、被害防除対策を強化しています。 湯沢町鳥獣被害防止対策協議会補助金 3,500千円				
農地中間管理事業	担当課	環境農林課	事業費	2,130千円(前年度 2,130千円)
後継者不足や耕作放棄地など農業に関する問題を解決するために「農地中間管理機構」が実施する事務を受託し、その費用を計上しています。 事務補助賞金 1,957千円				
花の郷運営費	担当課	環境農林課	事業費	7,903千円(前年度 7,977千円)
旭原にある「陶芸工房旭窯」の運営や「体験工房大源太」などの体験施設周辺の景観整備のためコスモスや菜の花の植栽を行っています。 陶芸工房運営管理 3,100千円、花の郷植栽管理 2,000千円				
体験工房大源太運営費	担当課	環境農林課	事業費	5,289千円(前年度 4,689千円)
「体験工房大源太」では、大人から子どもまでだれでも気軽にそば打ちやあんぼ作りなどの手作り体験を楽しむことができます。市民農園の貸し出しも行っていきます。 指定管理料 4,000千円				
町有林費	担当課	環境農林課	事業費	15,714千円(前年度 16,793千円)
町有林は町の貴重な財産であるとともに、土地の保全や水資源の涵養、環境保全等多面的な性能を保持していくためにも重要であり、今後も適正に管理していきます。 町有林造林事業 13,000千円、分収造林事業 2,700千円				

Ⅲ 安心して自分らしく暮らせるまちづくり

地域が持つ資源を最大限活用し、多様な主体が連携・協力しながら、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援が地域ぐるみで行われる体制づくりを推進し、その個性と人権が尊重されつつ、このまちで安心して自分らしく暮らしていくことができるまちづくりを推進します。



社会福祉総務費	担当課	町民課	事業費	7,069千円(前年度 7,002千円)
総務費として、社会福祉全般にかかる予算を計上しています。平成26年度から子育て世代の経済的負担軽減を目的に、子どもが生まれた保護者に「すくすく子育て応援金」の支給を行っています。 すくすく子育て応援金 5,000千円				
社会福祉活動費	担当課	福祉介護課	事業費	1,967千円(前年度 2,236千円)
民生委員の活動にかかる予算等を計上しています。湯沢町では25名に民生委員を委嘱しており、地域住民の福祉の向上のための相談、指導、調査や福祉事務所への協力活動を行っています。 民生委員等費用弁償 1,967千円				

主な事業「Ⅱ 働きがいのある活力あふれるまちづくり」・「Ⅲ 安心して自分らしく暮らせるまちづくり」

障がい者生活支援事業費	担当課	福祉介護課	事業費	23,206千円(前年度 22,391千円)
-------------	-----	-------	-----	------------------------

障がいのある方が日常生活または社会生活を営むことができるよう支援するための予算を計上しています。
 重度心身障がい者医療費助成 17,000千円、精神障がい者医療費助成 2,326千円、障がい者タクシー利用助成 1,190千円、障がい者等交通費助成 1,890千円

障がい者自立支援事業費	担当課	福祉介護課	事業費	156,307千円(前年度 151,198千円)
-------------	-----	-------	-----	--------------------------

障害者総合支援法の基づく介護給付訓練給付の福祉サービスの提供、医療費の給付により、障がいのある方の自立した日常生活及び社会生活を支援する事業を実施しています。
 障がい福祉サービス費 118,108千円、地域生活支援事業費 2,447千円、更生医療費給付費 24,090千円、補装具給付費 1,500千円

障がい者団体等助成費	担当課	福祉介護課	事業費	36,677千円(前年度 34,444千円)
------------	-----	-------	-----	------------------------

各種団体に対する補助金、負担金を計上しています。
 湯沢町社会福祉協議会運営費補助金 32,000千円、魚沼更生園・魚沼学園負担金 4,652千円

老人福祉総務費	担当課	福祉介護課	事業費	15,050千円(前年度 20,346千円)
---------	-----	-------	-----	------------------------

敬老会や福祉バスの運行経費、各種高齢者団体への負担金等を計上しています。
 南魚沼福祉会建設費償還補助金(みなみ園他) 1,266千円、魚沼地域特別養護老人ホーム組合負担金(八色園) 6,248千円、敬老会費用 3,058千円、シルバー人材センター負担金 1,801千円

高齢者生活支援事業費	担当課	福祉介護課	事業費	11,914千円(前年度 10,465千円)
------------	-----	-------	-----	------------------------

高齢者の生活を支援するための事業について予算計上しています。
 在宅寝たきり者等介護手当支給事業 4,940千円、介護用品支給事業 2,440千円、緊急通報体制等整備事業 1,918千円、高齢者世帯等住宅除雪援助事業 2,019千円

老人施設等入所費	担当課	福祉介護課	事業費	16,840千円(前年度 14,567千円)
----------	-----	-------	-----	------------------------

老人保護施設への入所措置費を計上しています。
 入所措置費 16,840千円

総合福祉センター等管理費	担当課	健康増進課	事業費	16,435千円(前年度 16,062千円)
--------------	-----	-------	-----	------------------------

健康福祉部や社会福祉協議会の事務室がある。湯沢町社会福祉センターの管理費を計上しています。
 維持費負担金 10,083千円、修繕料 2,000千円、施設保守・清掃・警備 3,247千円

健康増進施設管理費	担当課	健康増進課	事業費	10,370千円(前年度 17,829千円)
-----------	-----	-------	-----	------------------------

湯沢町健康増進施設の管理費を計上しています。プールを利用した温水健康体操教室や人間ドック、健康診断を行う施設です。
 施設維持管理費負担金 4,081千円、施設保守・窓口業務・清掃 2,349千円、温泉使用料 1,584千円

やすらぎ荘管理費	担当課	福祉介護課	事業費	30,583千円(前年度 2,015千円)
----------	-----	-------	-----	-----------------------

やすらぎ荘解体に係る経費を計上しています。新規事業等：やすらぎ荘解体
 やすらぎ荘解体等 30,583千円

介護保険事業費	担当課	福祉介護課	事業費	149,983千円(前年度 155,832千円)
---------	-----	-------	-----	--------------------------

介護保険制度は、介護が必要な方が保険制度を使って必要なサービスを利用できるよう、40歳以上のすべての方が保険料を負担し支えあう制度です。
 介護保険特別会計繰出金 149,779千円

平成30年度湯沢町の予算

介護サービス事業費	担当課	福祉介護課	事業費	1,416千円(前年度 1,419千円)
居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所の予算を計上しています。 看護師等賞金 959千円				
国民健康保険事業費	担当課	町民課	事業費	94,285千円(前年度 110,677千円)
国民健康保険は、加入している人がケガや病気になったときに備え、普段から保険料を負担しあい安心して医療機関を受診できるようにするための制度です。 国民健康保険特別会計繰出金 94,285千円				
後期高齢者医療事業費	担当課	町民課	事業費	10,087千円(前年度 102,402千円)
高齢者の適切な医療の確保を目的とし、平成20年度から制度が始まりました。75歳以上の人(一定の障害がある場合は65歳以上)は、後期高齢者医療保険に加入することとなります。 新潟県後期高齢者医療広域連合負担金 72,339千円、後期高齢者医療特別会計繰出金 23,894千円、後期高齢者健康診査 2,836千円				
児童福祉総務費	担当課	子育て支援課	事業費	3,742千円(前年度 1,967千円)
総務費として、児童福祉全般に係る予算を計上しています。 管外保育委託 3,000千円				
子育て総合支援費	担当課	子育て支援課	事業費	14,693千円(前年度 13,902千円)
子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施や、青少年の育成にかかる予算を計上しています。 新規事業等: 地域子供の未来応援交付金事業(子供の貧困状況、放課後の居場所等を把握するための実態調査の実施) 子育て総合支援センター管理指導主事 3,000千円、青少年育成指導員兼社会教育指導員賞金 2,068千円、保育士賞金 2,089千円、育児講座等講師、精神科医等報償 1,241千円、保育支援業務委託 1,966千円				
認定こども園管理費	担当課	子育て支援課	事業費	15,575千円(前年度 13,685千円)
認定こども園の施設管理等についての予算を計上しています。 光熱水費 9,190千円、清掃・警備・各種保守点検等 3,639千円				
認定こども園運営費	担当課	子育て支援課	事業費	98,373千円(前年度 98,806千円)
認定こども園の運営費全般の予算を計上しています。 臨時保育士等賞金 53,269千円、給食材料等 16,702千円、教材費、消耗品費 3,799千円				
湯沢児童クラブ運営費	担当課	子育て支援課	事業費	7,149千円(前年度 5,099千円)
就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生に健全な遊びや生活の場を提供することにより、保護者が安心して働くことができるよう支援しています。湯沢町社会福祉協議会が指定管理者として管理運営を行います。 湯沢児童クラブ指定管理料 6,999千円				
ひとり親家庭等医療費	担当課	町民課	事業費	5,304千円(前年度 5,941千円)
ひとり親家庭等(母子父子家庭又は両親がいない児童を養育している方)の医療費を軽減し、保健及び福祉の向上を図ります。 ひとり親家庭等医療費 5,200千円				
児童手当費	担当課	町民課	事業費	98,544千円(前年度 98,944千円)
次世代を担う子どもたちの健やかな成長を社会全体で応援するために親等に支給するもので、支給対象は満15歳以後の最初の3月31日までの間にある子どもです。 児童手当 98,500千円				

主な事業「Ⅲ 安心して自分らしく暮らせるまちづくり」・「Ⅳ 自然とともに生き、快適に暮らせるまちづくり」

健康づくり推進費	担当課	健康増進課	事業費	830千円(前年度 2,269千円)
湯沢町ファミリー健康プランに基づき町民の健康づくりの推進を図ります。 ファミリー健康プラン推進委員報償 527千円				

予防接種事業	担当課	健康増進課	事業費	13,586千円(前年度 13,566千円)
乳幼児の各種予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種、成人用肺炎球菌ワクチンなどにかかる予算を計上しています。 予防接種 12,930千円				

母子健康事業費	担当課	健康増進課/町民課	事業費	24,506千円(前年度 25,608千円)
子どもたちの発育支援のための健康診査や医療費の助成を行います。また、妊娠中の健康診査や不妊治療医療費の助成のための予算を計上しています。こども医療費については助成を拡充し、平成28年度の10月から個人負担が無料となっています。 子ども医療費助成 16,000千円、妊婦健康診査・医療費助成 6,033千円				

検診事業	担当課	健康増進課	事業費	11,731千円(前年度 11,570千円)
病気の早期発見、早期治療のための健康診査や各種がん検診を行うための予算を計上しています。 各種健康診査 9,431千円				

病院事業	担当課	健康増進課	事業費	252,049千円(前年度 204,935千円)
町立湯沢病院(湯沢町保険医療センター)は、平成14年8月に開院し、公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者として運営を行っています。良好な診療体制を維持するため、計画的に医療機器の更新等を行っています。 病院事業会計補助金 252,049千円				

Ⅳ 自然とともに生き、快適に暮らせるまちづくり

湯沢町の財産でもある豊かな自然を守るため、その大切さや意義を町民や事業者などと共有し、自然環境を保全する取り組みを総合的に推進します。また、高齢社会に対応し、居住地域や季節にかかわらず、町民や湯沢町を訪れる人々が快適に過ごせる生活環境づくりを推進します。



環境衛生一般管理費	担当課	環境農林課	事業費	11,251千円(前年度 9,529千円)
環境衛生の向上のための施策を実施します。 新規事業等：再生可能エネルギー普及促進補助金(再生エネルギー使用機器(ベレットストーブ等)の購入及び設置に対し、工事費の1/3、上限20万円を助成) 事務補助 2,008千円、斎場業務委託(南魚沼市) 5,727千円、再生可能エネルギー普及促進補助金 1,000千円				

塵芥処理一般管理費	担当課	環境農林課	事業費	159,000千円(前年度 190,958千円)
ごみ処理にかかる一般的な費用を計上しています。 新規事業等：グリストラップ汚泥等処理費補助金 (湯沢町内の事業所に対し、グリストラップ汚泥等の処理費用の一部を補助) ※南魚沼市し尿処理施設閉鎖に伴い、グリストラップ汚泥等の処理費が従来より高額となるため、3年間に限り補助するもの。 (H30 16.4円/L) 可燃ごみ処理委託(南魚沼市) 104,689千円、不燃ごみ処理委託(南魚沼市) 46,732千円、グリストラップ汚泥等処理費補助金 5,500千円				

平成30年度湯沢町の予算

塵芥処理費	担当課	環境農林課	事業費	110,600千円(前年度 110,600千円)
町内のごみ収集、不法投棄されたごみ処理の費用を計上しています。昨年度より、粗大ごみ収集運搬業務委託費用を計上しています。 ごみ収集運搬(一般分、マンション分) 109,000千円、粗大ごみ収集運搬業務委託 1,300千円				
し尿処理費	担当課	環境農林課	事業費	33,807千円(前年度 63,910千円)
し尿及び生活雑排水汚泥の処理のための経費を計上しています。 ※し尿等受入施設の建設事業は、昨年度で終了しました。 し尿処理委託(南魚沼市) 33,807千円				
交通安全対策費	担当課	環境農林課	事業費	2,750千円(前年度 2,345千円)
交通安全を推進するための各種事業を行います。昨年度より、高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施しています。 新規事業等: 消防車両購入、湯沢消防署訓練塔建設 交通指導員等報酬・報償 686千円、高齢者運転免許証自主返納支援事業 500千円				
消防総務費・消防団費	担当課	総務管理課	事業費	403,599千円(前年度 339,061千円)
南魚沼市に委託している消防業務、湯沢町消防団の活動にかかる予算を計上しています。 新規事業等: 消防車両購入、湯沢消防署訓練塔建設 消防業務委託(南魚沼市) 292,652千円、消防施設等整備費負担金(南魚沼市) 77,768千円、消防団報酬・各種手当等 19,255千円、総合事務組合負担金 8,035千円				
災害対策費	担当課	総務管理課	事業費	19,808千円(前年度 39,867千円)
災害時の情報収集のための事業など、防災・減災のための予算を計上しています。昨年度は三俣地区の緊急告知ラジオ不感地帯解消事業を実施しました。 緊急告知ラジオ運営委託 1,659千円、緊急告知ラジオ施設維持管理負担金 2,680千円				
災害復旧費	担当課	各所管課	事業費	45,704千円(前年度 20,197千円)
災害による被害があった場合の復旧にかかる費用を計上しています。新規事業等: 苗場線法面復旧工事 公共土木施設災害応急復旧費(苗場線法面復旧工事他) 36,878千円、農林土木施設災害応急復旧費 2,788千円、その他施設災害応急復旧費 6,038千円				
克雪住宅整備事業	担当課	建設課	事業費	2,240千円(前年度 2,240千円)
町民の雪下ろしに伴う経費負担及び危険防止を図るため、克雪住宅の新築または既存住宅に克雪住宅に改築する費用の一部を補助します。定住人口の増加を目的に移住者が対象となる場合の補助金の上乗せも実施します。 克雪すまいづくり支援事業補助金 2,240千円				
除雪対策費	担当課	建設課	事業費	281,773千円(前年度 285,024千円)
冬期間の道路交通確保は、町民の生活環境を確保していくうえで重要な対策です。町では消雪パイプと機械除雪を主体に、安全で効率の高い除雪を目指します。また、歩行者空間確保については、通学路を中心に小型除雪機械による歩道除雪を行います。新規事業等: 小型除雪車購入 車道・歩道除排雪、道路バロー 134,600千円、消雪施設電気料 53,700千円、除雪機械・消雪施設修繕料 31,600千円、凍結防止剤散布 10,000千円				
道路橋梁維持管理費	担当課	建設課	事業費	72,990千円(前年度 53,835千円)
町道及び橋梁の維持管理、修繕にかかる経費を計上しています。 新規事業等: 田中平沢線・三俣芝原線側溝清修繕等 道路・橋梁修繕料 41,200千円、道路台帳等整備 1,500千円、道路等バロー 2,300千円、草刈・清掃・街路樹剪定 15,660千円、測量・設計・登記・杭設置 2,900千円				

主な事業 「IV 自然とともに生き、快適に暮らせるまちづくり」・「V 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり」

道路橋梁新設改良事業	担当課	建設課	事業費	417,000千円(前年度 285,100千円)
優先順位を考慮しながら必要な箇所を順次改良しています。舗装修繕、消雪パイプの修繕、橋梁等の点検・調査を行います。 新規事業等：城平線跨線橋修繕工事、橋梁長寿命化計画策定等 道路・橋梁新設改良事業 417,000 千円				

公園施設長寿命化対策支援事業	担当課	建設課	事業費	44,000千円(前年度 46,000千円)
公園長寿命化修繕計画に基づき、中央公園施設の改修を行います。カルチャーセンター及びレジャープールの機械装置等の改修を行います。 新規事業等：レジャープール遠赤外線暖房機取替、カルチャーセンター冷温水発生器更新 カルチャーセンター及びレジャープール改修 44,000千円				

公園施設長寿命化計画策定	担当課	建設課	事業費	5,500千円(前年度 12,000千円)
都市公園施設長寿命化計画策定のための費用を計上しています。 都市公園施設長寿命化計画策定 5,500千円				

都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	担当課	建設課	事業費	36,000千円(新規事業)
都市公園5箇所(神立公園、原新田公園、駅前公園、奈良山公園、地藏堂公園)のトイレ改修のための費用を計上しています。 新規事業等：都市公園トイレ改築(神立公園、原新田公園、駅前公園、奈良山公園、地藏堂公園) 都市公園トイレ改築 36,000 千円				

都市計画施設維持費	担当課	建設課	事業費	152,873千円(前年度 174,743千円)
都市公園、都市計画駐車場、駅前広場等の維持管理や修繕のための経費を計上しています。 新規事業等：レジャープール施設改修、カルチャーセンター移動式バスケットゴール入替 都市計画施設等修繕 14,100千円、中央公園指定管理料 66,500千円、除雪等雪対策費 27,950千円				

湯沢西地区街なみ環境整備事業	担当課	建設課	事業費	117,623千円(新規事業)
越後湯沢駅西口改修事業等にかかる費用を計上しています。 新規事業等：湯沢西地区街なみ環境整備事業(舗装等美化、通信線地中化、店舗風景、かんなんくり改修施設設計等) 越後湯沢駅西口駅前広場改修等 117,623千円				

V 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり



社会環境の変化や時代の要請に応えることができ、国際社会にも通用する個性豊かな人材育成を図るため、誰もが学べる教育環境を整備し、地域資源を活用した特色ある教育活動を推進します。また、地域固有の文化を保存・継承する活動を支援し、まちの個性のさらなる醸成を図るとともに、生涯学習や社会体育など様々な活動を通じてあたたかな交流が行われるまちづくりを推進します。

国際交流事業費	担当課	教育課	事業費	5,040千円(前年度 6,729千円)
姉妹都市であるアメリカ合衆国ユタ州ソルトレイク郡マグナと、学生のホームステイを主とした交流を行っています。今年度も中学生の派遣、マグナからの学生受入事業を予定しています。 姉妹都市生徒派遣・受入事業等 5,040千円				

教育委員会費・事務局管理費	担当課	教育課	事業費	9,456千円(前年度 10,970千円)
教育委員会及び教育全般にかかる事務局費を計上しています。 教育委員会費 1,003千円、事務局補助 1,980千円、特別支援学校業務委託(南魚沼市) 1,188千円、南魚沼市学習指導センター負担金 3,527千円				

平成30年度湯沢町の予算

就学奨励費	担当課	教育課	事業費	30,227千円(前年度 30,227千円)
<p>経済的な理由により就学が困難な者に対して学資の一部を無利息で貸与し、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とした制度を実施しています。その他に幼稚園就園奨励費、特別支援学校の就学費を計上しています。 奨学金 30,000千円</p>				
学校給食事業費	担当課	教育課	事業費	92,762千円(前年度 86,943千円)
<p>湯沢町給食センターでは、小中学校の児童・生徒、教職員の給食を作っています。学校給食に湯沢産のお米を使用しています。 新規事業等：学校給食センタートイレ改修及び調理室等壁修繕 燃料費・光熱水費 8,430千円、材料費 31,266千円、調理等業務委託 33,564千円、学校給食センター施設修繕等 8,160千円、備品購入費 1,500千円</p>				
学園振興費	担当課	教育課	事業費	13,798千円(前年度 12,089千円)
<p>小学校と中学校で共通して必要となる日常的な教育活動のための経費を計上しています。 心の教室相談員賃金 1,940千円、消耗品費 4,756千円</p>				
学園管理費	担当課	教育課	事業費	95,847千円(前年度 98,170千円)
<p>小学校と中学校で共通して必要となる管理等全般にかかる経費を計上しています。 新規事業等：湯沢中学校野球場排水工事、第1グラウンド通路・路面改修等 燃料費 3,900千円、光熱水費 14,730千円、通学タクシー・バス委託料 16,880千円、外国語指導助手(ALT) 9,500千円 施設管理保守・点検等委託等 21,932千円、学校施設修繕等 6,250千円、遠距離通学費補助金 5,533千円</p>				
小学校管理費	担当課	教育課	事業費	23,377千円(前年度 19,501千円)
<p>小学校の管理等全般にかかる経費を計上しています。 特別支援学級等介助員賃金 17,023千円、就学援助費 4,887千円</p>				
中学校管理費	担当課	教育課	事業費	12,741千円(前年度 12,161千円)
<p>中学校の管理等全般にかかる経費を計上しています。 特別支援学級等介助員賃金 3,586千円、校外大会参加費補助金 1,000千円、就学援助費 3,954千円</p>				
公民館管理費	担当課	教育課	事業費	19,952千円(前年度 24,176千円)
<p>湯沢町公民館及び湊員分館の維持管理費を計上しています。 燃料費 1,246千円、光熱水費 1,981千円、建物等修繕 1,010千円、設備等保守 2,937千円、宿日直・清掃・警備 6,944千円、雪対策費 1,580千円</p>				
講座事業費	担当課	教育課	事業費	476千円(前年度 483千円)
<p>公民館講座では、自主的なサークル活動への足がかりとして、どなたでも気軽に受講できる各種講座を開設しています。 講師報償 310千円</p>				
公民館事業費	担当課	教育課	事業費	4,535千円(前年度 5,107千円)
<p>図書室の運営や成人式等の公民館が主催する各種事業の費用を計上しています。 事務補助員賃金 1,315千円、図書購入 1,300千円</p>				
地区館事業費	担当課	教育課	事業費	3,228千円(前年度 3,178千円)
<p>地域コミュニティ活動を推進し、地域の振興を図るための費用を計上しています。 地区館長・分館長報酬 1,780千円</p>				

主な事業 「V 誰もが学べ、個性を誇れるまちづくり」・「VI 持続可能な自立したまちづくり」

全国童画展事業費	担当課	教育課	事業費	3,988千円(前年度 4,128千円)
日本童画の父 川上四郎記念「越後湯沢全国童画展」を開催し、「童画のまち湯沢」を全国にアピールしていきます。 入賞者賞金 1,100千円				

文化財保護一般管理費	担当課	教育課	事業費	10,216千円(前年度 5,116千円)
町内の各種指定文化財の保護・保全に努めるとともに、町史編さん事業で調査された重要な文化財の保護について検討していきます。新規事業等：池田家トイレ水回り改修 池田家管理 1,000千円、池田家施設・設備改修等 4,000千円				

資料館管理費	担当課	教育課	事業費	12,161千円(前年度 14,231千円)
湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」は、指定管理者制度により湯沢町観光協会が運営しています。 新規事業等：雪国館エアコン改修工事 修繕料 1,100千円、指定管理料 9,500千円				

生涯スポーツ推進費	担当課	教育課	事業費	23,375千円(前年度 18,657千円)
「総合型地域スポーツクラブ」の活動をおし、「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツや文化活動と接することができるような環境を整備し、町民の健康の保持増進、体力向上や地域の交流と活性化を図るとともに、スキーのまち湯沢を推進します。新規事業等：全国中学校スキー大会開催地負担金 湯沢町総合型地域スポーツクラブ運営費 12,500千円、湯沢町体育協会活動費補助金 1,000千円、ジュニアスキー選手育成会活動費補助金 2,700千円、全国中学校スキー大会開催地負担金 2,450千円、スキーリフト等共通乗車証購入補助金 1,475千円				

VI 持続可能な自立したまちづくり

税金の確保と効率的な行政運営を図るとともに、まちづくりの方向性に合致した戦略的な投資を行い、高齢社会・人口減少時代に対応した合併せずとも持続可能なまちづくりを推進します。また、まちづくりの方向性を地域全体で共有し、多様な主体がそれぞれの役割を認識し、地域課題の解決に向けて連携・協力して取り組むまちづくりを推進します。



国土調査費	担当課	税務課	事業費	41,936千円(前年度 31,162千円)
国土調査(地籍調査)とは、国土調査法に基づく土地の調査のことです。一筆ごとの土地について所有者、地番、地目を調査するとともに、土地の境界と面積を測量します。 消耗品 2,216千円、地籍調査 17,500千円、復元図調整・境界復元 12,700千円、用地現況測量 6,700千円				

職員の資質向上	担当課	総務管理課	事業費	400千円(前年度 400千円)
職員の資質向上のため、これまでの研修機関での研修や外部機関への研修及び内部研修をさらに充実させるとともに、職員が自主的に行う研修への支援を充実し、行政課題の研究やまちづくりの推進に対する啓発意欲を高めるよう努めます。 職員自主研修補助金 400千円				

徴収費	担当課	税務課	事業費	10,017千円(前年度 10,042千円)
町税収入は、平成 28年度決算で収入全体の約5割を占める大切な財源ですが、平成 28年度の収入未済額が約 9.6億円と滞納が大きな問題となっています。新たな滞納の発生・滞納額増加防止のため、早期の納付催告、臨戸徴収、納税相談などを行うとともに、滞納者に対する実態調査の徹底、新潟県地方税徴収機構との連携や、差押え・公売等の滞納処分により収収の確保に努めます。 通信運搬費 2,433千円、収納事務取扱手数料 4,045千円				

平成30年度湯沢町の予算

徴収嘱託員費	担当課	税務課	事業費	10,348千円(前年度 13,020千円)
リゾートマンション等を多く抱える湯沢町は、首都圏の滞納者に対応すべく東京事務所を設置し、東京都税事務所OBが2名勤務しています。あわせて、町内対応も3名(国民健康保険料1名含む)設置し、計5名が納付勧告、臨戸徴収などを行っています。				
徴収嘱託員賃金 8,517千円				

VII 行政サービス・行政機能

選挙や議会に関する経費や、税金の課税、戸籍・住民登録等に関する経費など行政機能によるものや統計調査、情報化、労働対策、借入金の返済等に関する経費を挙げています。



選挙費	担当課	総務管理課	事業費	1,958千円(前年度 7,405千円)
選挙管理委員会の運営にかかる費用のほか、今年度執行予定の選挙費用等を計上しています。				
新規事業等：県議会議員選挙費、土地改良区総代選挙費 県議会議員選挙費 1,602千円、土地改良区総代選挙費 64千円				

議会費	担当課	議会事務局	事業費	61,745千円(前年度 64,865千円)
議員の報酬や、議会の運営にかかる予算を計上しています。				
議員人件費 54,139千円、議会だより作成 925千円、議事録翻訳 908千円				

賦課費	担当課	税務課	事業費	41,619千円(前年度 41,619千円)
町民税や固定資産税などの町税の課税にかかる予算を計上しています。				
新規事業等：家屋評価システム更新、登記管理システム導入、社会保険料支払額通ツール・個人住民税(賦課) ツール作成 事務補助賃金 1,019千円、印刷製本費 2,497千円、通信運搬費 4,619千円、固定資産評価替・土地鑑定 9,526千円				

固定資産評価審査委員会費	担当課	監査委員事務局	事業費	151千円(前年度 160千円)
固定資産評価委員会は、市町村に置かれる行政委員会であり、その職務は市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の審査及び決定その他の事務を行います。				
固定資産評価審査委員報酬 100千円				

戸籍住民基本台帳	担当課	町民課	事業費	12,157千円(前年度 14,829千円)
戸籍・住民登録・印鑑登録などの届出の受付や戸籍謄(抄)本・住民票・印鑑登録証明書・マイナンバーカード等の発行事務を行います。				
システム等保守・点検等 3,633千円、システム等使用料 6,350千円				

情報化推進費	担当課	総務管理課	事業費	73,133千円(前年度 93,541千円)
情報関連システム運用経費全般を計上しています。				
新規事業等：情報政策支援(日々進歩する情報通信技術に対応するため、専門家としての知見を活用した情報システムの調達及び導入管理)				
通信運搬費 7,686千円、システム運用経費 41,427千円、情報政策支援 9,720千円				

主な事業 「VI 持続可能な自立したまちづくり」・「VII 行政サービス・行政機能」

労働対策費	担当課	商工観光課	事業費	3,794千円(前年度 3,644千円)
労働者のスキルアップを応援する予算を計上しています。離職された方の再就職支援として、介護の資格や大型特殊自動車免許などの資格取得費に対し助成を行います。 職業訓練業務委託(南魚沼市) 1,927千円				

公債費	担当課	企画政策課	事業費	298,278千円(前年度 218,941千円)
大規模事業を行う際に借り入れた町債の元金と利子の償還金を計上しています。 元金 271,998千円、利子 26,280千円				

監査委員費	担当課	監査委員事務局	事業費	2,116千円(前年度 1,994千円)
監査委員は、公正で効率的な行政を確保するために、地方自治法の規定により設置されている執行機関です。町が行っている事業等について財務会計事務等が正しく行われているか、町長から独立した立場で監査しています。優れた見識を有する者から1名、議員から1名の計2名が職務を執行しています。 報酬 1,415千円				

町有財産・庁舎管理費	担当課	総務管理課	事業費	64,494千円(前年度 44,289千円)
町が有する財産(土地・建物)及び庁舎管理にかかる費用を計上しています。 新規事業等: 魚野川右岸遊歩道整備事業(調査、測量、支障木伐採、条例貸付地返還補償料等)、庁舎修繕等(庁舎屋上排水改修工事) 光熱水費 7,036千円、庁舎清掃・警備 7,632千円、支障木伐採、魚野川右岸遊歩道整備等 19,174千円、土地借上料 1,478千円、庁舎修繕等 12,500千円				

基金管理費	担当課	企画政策課	事業費	6,120千円(前年度 3,280千円)
町が管理・所有する基金に関する費用を計上しています。 各種積立金 5,479千円				

湯沢高原ロープウェイ施設管理費	担当課	総務管理課	事業費	170,307千円(前年度 113,378千円)
平成24年度に大規模な改修工事を行い、平成33年度まで償還が続きます。引き続き魅力アップに向けて整備を実施します。 施設管理等 7,000千円、土地借上料 9,539千円、施設修繕等 106,958千円、大規模改修負担金 43,199千円				

旧学校施設等管理費	担当課	総務管理課	事業費	13,712千円(前年度 17,837千円)
小中学校の統合や認定こども園の開園に伴い、廃校・廃園となった施設の管理に関する費用を計上しています。 光熱水費 1,950千円、施設管理等 6,815千円、雪対策費 1,315千円、施設修繕等 1,900千円				

路線バス運行補助金	担当課	企画政策課	事業費	29,090千円(前年度 31,088千円)
町内間及び町内から町外間を運行する路線バスの運行費用を補助し、生活交通の確保を図ります。 路線バス運行補助金 29,090千円				

湯沢心のふるさと基金	担当課	企画政策課	事業費	618,475千円(前年度 386,941千円)
ふるさと納税とは、ふるさと(出身地に限らず、応援したいと思う地域)の県や市町村を「寄付金」という形で応援することができる制度のことです。いただいた寄付金は、平成30年度事業に充当し、有効に活用させていただきます。 報償費 200,000千円、印刷製本費 7,277千円、クレジット収納取扱手数料 3,420千円、システム使用料等 4,322千円、積立金 400,000千円				



湯沢町の予算